

むかしの高松

'99/3
第11号

鬼無藤井遺跡

— 高松市鬼無町 —



復原想像図

速報! 鬼無藤井遺跡

今回の「むかしの高松 第11号」では平成9、10年度に発掘調査を行った鬼無藤井遺跡をご紹介します。

発掘調査は都市計画道路木太鬼無線の南、JR予讃線の線路を西と東に挟む2本の市道予定地と貨物ヤード建設予定地で行いました。この遺跡のすぐ東には本津川が流れ、また西の勝賀山周辺は香西氏ゆかりの地であり、古墳が点在する場所でもあります。(最後のページを参照下さい。)



鬼無藤井遺跡位置図

「国土地理院発行の5万分1地形図(丸亀・高松南部)の一部を掲載」

今回発掘された主なものを時代別にご紹介しますと、

縄文時代では

古い川跡から、縄文時代晩期の粗製の深鉢や精製の浅鉢等が出土しています。

弥生時代では

弥生時代前期の集落跡と考えられる環濠^{かんごう}の跡や土坑^{どこう}(ゴミ溜め等の穴)、柱穴跡、溝跡が見つっています。

平安時代から室町時代では

条里^{ほったてばしら}(古代の土地区画法)方向に区画された溝跡、掘立柱建物跡、水田跡等が見つっています。

江戸時代以降では

屋敷跡と思われる掘立柱建物跡や石組の井戸、田んぼのすき跡や排水用の暗渠^{あんきょ}などが見つっています。



発掘作業風景

鬼無に環濠集落出現!!



鬼無藤井遺跡（空中写真）

写真の左右に見える2本の弧を描く溝跡は、環濠と呼ばれる弥生時代の集落跡に見られるもので、居住地全体を取り囲むように巡らされています。水田による稲作が伝わってきた弥生時代、集落内の一体化や占有する土地の誇示、外敵からの防衛のため等に環濠が造られたと考えられています。今のところ香川県下では環濠集落跡の全体像が分かる発掘例が少なく、貴重な成果をあげることができました。出土した土器から分かった時期は、弥生時代前期の中頃で、石包丁も見つかっていることから今から2000年以上の昔、鬼無のこの地に稲作を行っていた集落があったものと考えられます。



大解剖!!! 鬼無藤井遺跡の環濠集落

下の図は、発掘をした箇所の測量図面を現在の地図に重ね合わせたものです。線路部分が入っていますが、2重に環濠が巡っているのが分かります。居住地であったと思われる環濠の内側は外側に比べて、やや地面が高くなっているため水はけがよくなっています。環濠や内側の穴からは甕、壺、高坏等の日用に使われていた土器や石包丁等の石器類が見つっています。外側の環濠の端から端までは約70m。表紙の想像図のように大きな集落ではないですが、内側に何棟かの^{たてあな}竪穴住居や1、2棟の高床式倉庫があり、また外側では水田がつくられていたと考えられます。



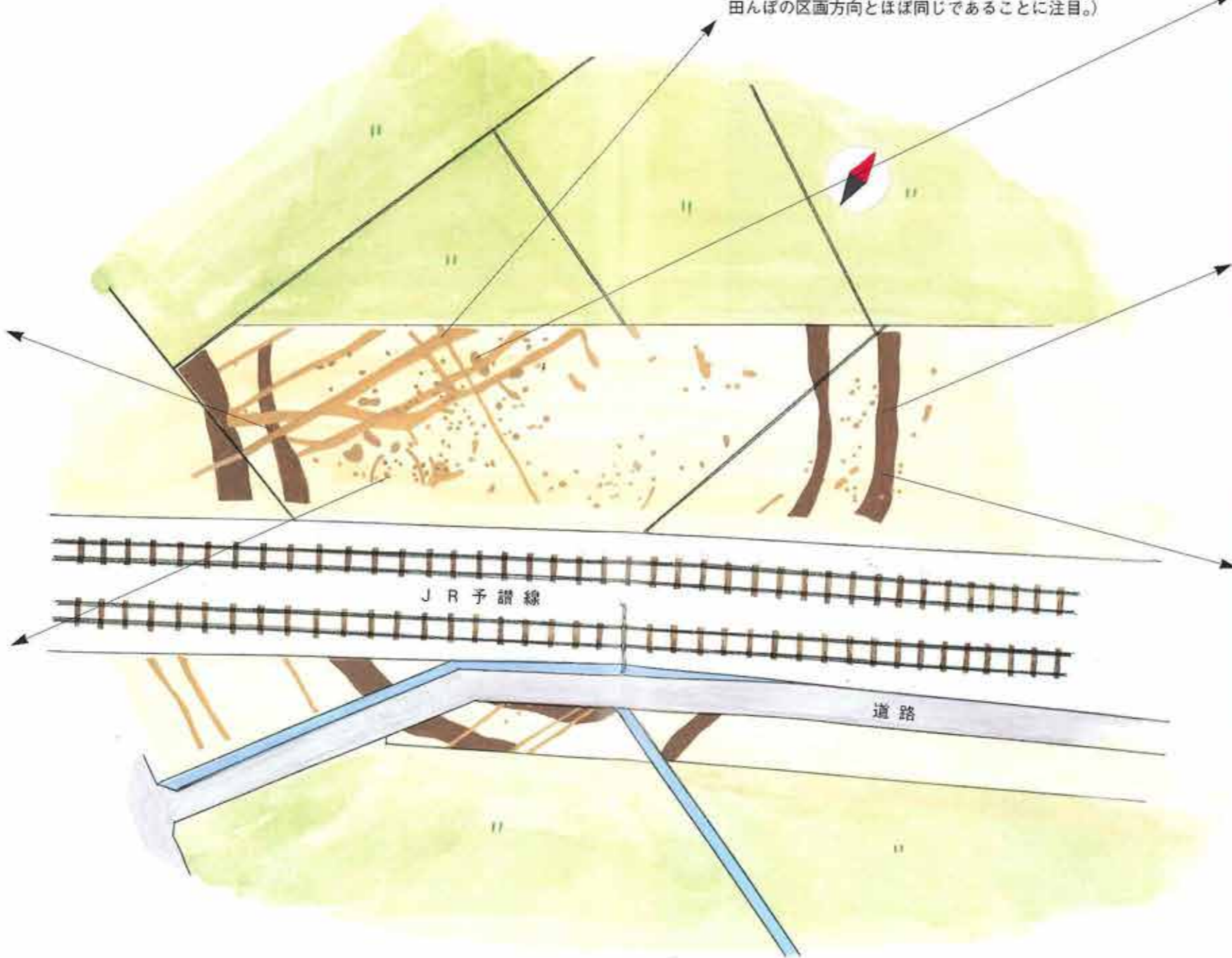
古代以降の溝跡等の遺構は、条里の影響を受けてほぼ南北、東西方向に区画されています。(今の田んぼの区画方向とはほぼ同じであることに注目。)



ゴミ穴と考えられる土坑には、当時の土器片や石器がいっぱい詰まっています。



断面で見ると内側、外側ともにV字形をしています。(2重の溝)



内側より外側の方が、やや広く深く掘られていました。



壁溝(壁となる構造物を支えるために掘られた溝、あるいは住居内の排水用の溝)等、竪穴住居の跡がかろうじて残るところもあります。



環濠の底からはたくさんの土器片が出土しています。

環濠以外では何ができたのでしょうか？

環濠よりも後の時代の発掘された主なものをご紹介します。

古代～中世では

条里方向に合う溝跡が多く、調査区で見られた他、掘立柱建物跡も部分的に発掘されました。黒色土器^{りよくゆう}や緑釉陶器^{はじき}、青磁、土師器皿や鍋等が出土しています。



交差する溝が埋った後、南北4間×東西3間以上の掘立柱建物が建てられています。



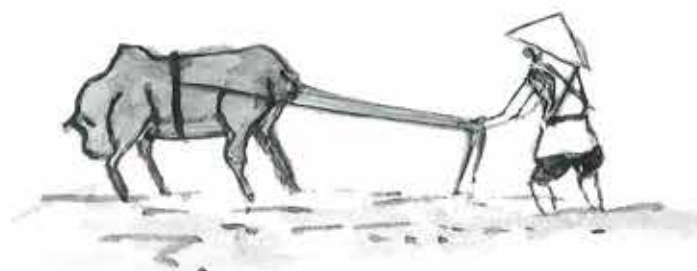
左の写真の溝跡付近で見つかった平安時代末頃の黒色土器椀。表面が燻されています。



室町時代の人が埋葬されていました。2人とも西向き北枕で、体を折り曲げて眠っています。



右のブロック構造物は現在の用水路ですが、それと平行して南から北へと流れていた条里坪界の溝跡。



近世～近代

掘立柱建物跡や石組みの井戸、暗渠、^{すき}犁溝跡等を発掘し、建材や日用品等の木製品、瓦、陶磁器が出土しています。



ほぼ等間隔に並んだ柱穴群は幕末から明治の屋敷跡と考えられ、大きな穴には、瓦、建築材、桶などの日用品が捨てられていました。



左の屋敷跡の近くで見つかった石組みの井戸。すぐに水が湧いてきました。



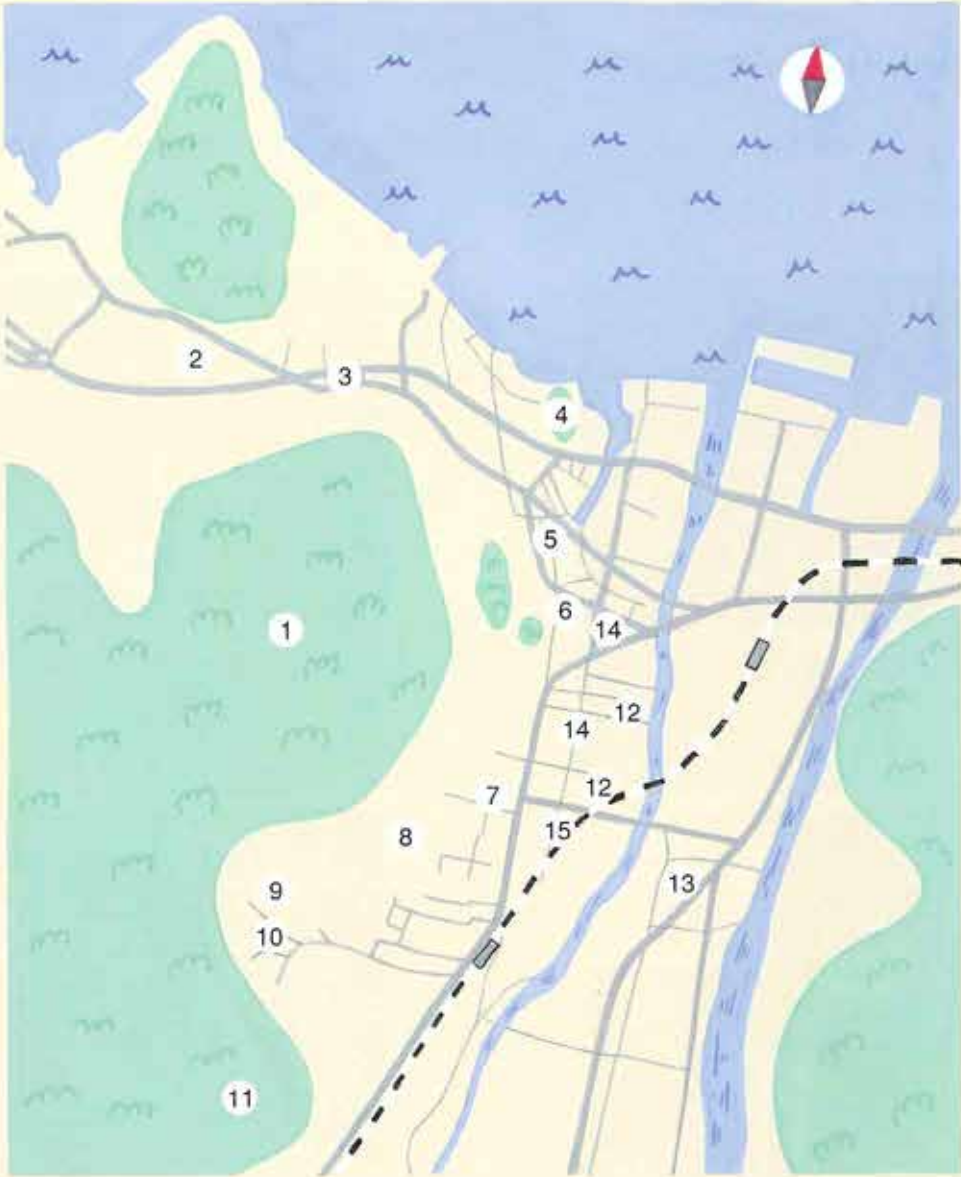
柱穴群の中には、柱が沈まないよう柱穴の下に根石と呼ばれる石が敷かれているものもありました。



排水用の石組み暗渠。鬼無藤井遺跡のいたるところで見られました。



遺跡マップ (香西・鬼無の主な遺跡)



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 鬼無藤井遺跡 | 香西南西打遺跡 | 筑城遺跡 | 西打遺跡 | 鬼無城跡 | 古宮古墳 | 平木1号墳 | 今岡古墳 | 佐料城跡 | 作山城跡 | 藤尾城跡 | 芝山城跡 | 植松城跡 | 中山城跡 | 勝賀城跡 |

「遺跡はたくさんの人の協力のもとに守られています。」

むかしの高松 第11号

1999.3.31

編集発行／高松市教育委員会文化部文化振興課

高松市番町一丁目8番15号

087-839-2636

印刷／株式会社中央印刷所